

開催地名：愛媛県今治市	
開催日時	令和4年11月30日（水） 14：00 ～ 15：55
開催場所	今治市立菊間中学校
語り部	菅原 康雄 （宮城県仙台市）
参加者	生徒、教職員、地域住民、関係機関 110名
開催経緯	<p>本校校区の南海トラフ巨大地震での想定震度は、ほぼ全域が震度6弱、海岸に近い地域では最大3m未満の津波の浸水域があり、それに伴う被害の発生も想定されている。その対応を課題とし、本校では地域防災マップを作成して小学生への啓発活動を行ったり、防災教育講演会を行ったりして防災教育に取り組んできたが、その過程において防災教育は学校だけでは推進できないことを痛感し、家庭、地域と共に歩む防災教育の推進が今後の課題となっている。</p>
内容	<p>（1）福住町町内会の取り組み</p> <p>福住町町内会は仙台市宮城野区の中央に位置し、417世帯1,138人からなる。（令和4年10月末現在）そして、町内会の執行部は41人で構成されており（10世帯に1人程度の役員を選出）、そのうち23人が女性である。一般的に女性のほうが男性より生活能力が高いため、災害時の避難所で食事の準備をしたり、子供や高齢者、病人等の面倒をみたりするのはほとんどが女性である。力仕事や交渉事など、男性のほうが適している能力もあるので、互いの長所を有効に活用していくことが、特に災害時には重要だ。</p> <p>我々は、自分の身は自身で守るというスタンスを基本として活動している。具体的には、実際の被害を想定した「訓練」と、地域での「協力体制の整備」の2本柱で取り組んでいる。「協力体制の整備」については、日頃の挨拶にはじまり、顔見知りになっていくことから始めている。そうすることによって、色々な住民が相互に協力してくれるようになってきたと言える。</p> <p>そして、続いて紹介したいのが「名簿作り」である。この名簿こそが我々福住町の徹底した防災対策の根幹をなすものとなっている。名簿の中に落とし込むのは住所、氏名、電話番号、勤務先、緊急連絡先、動物（ペット）の有無といった項目で、これを毎年1度行う防災訓練の前に更新している。もちろん、町内の全員が賛同してくれる訳ではないので、「個人情報保護法」を遵守しつつ作成をしている。それでも町内の約8割は賛同してくれるので、大災害時の安否確認の時には非常に役立った。</p> <p>もう一つの柱である「訓練」については、通常の「防災訓練」だと一般の方々の参加はあまり見込めない。そうすると、行政職員や消防関係者の方々だけの緊張感のない形式的な「防災訓練」となってしまう、あまり効果を見込めないものとなる。「防災訓練」を地域のお祭りやイベントなどと一緒に行うと、お年寄りから幼児まで幅広い層の参加者が見込め、ひいては、地域全体で「協力体制」を取れるようなシステム作りにつながって行くようになる。福住町では5年前から中学生も参加するように設定し、住民とともに役割を持って消火訓練等に取り組んでいる。</p> <p>（2）東日本大震災時に感じたこと</p>

毎年厳しく繰り返される防火・防災訓練による効果は、東日本大震災発災直後の行動に顕著に表れて、発災後 30 分で重要支援者の安否確認、集会所への避難住民誘導、仮設トイレ・瓦礫置き場、ガス・水道のライフライン等を設置させた。この時改めて感じたことは、避難所設営では、空気の読める顔見知りの方が中心となることと、運営面では女性の目線が絶対に必要であるということだ。そして避難所運営で最も大切なのはトイレの問題である。水や食料は我慢できるが、排泄を我慢すると病気につながってしまう。家庭に水洗ポータブルトイレを用意していただき、災害時に使用できるようにしていただくと、避難所でのトイレの問題は大幅に改善すると思う。

事前に災害時相互協力協定を締結していた尾花沢市等の全国 4 団体（現在 14 団体）から届けられた支援物資は、避難所でありがたく消費・活用させていただいたが、福住町で余剰となった分については、順次津波で打撃を受けた県内・県外の地域に送り届け、支援させていただいた。この取り組みはメリットがとても大きいものなので、今後も継続していきたい。

（3）さいごに

私の住む小さな町でも、減災を目的にして今日お話ししたような事柄を実践してきたことで、東日本大震災では一定の効果を確認することができた。皆さんの学校や地域でも、減災を目標とした防災活動を実践していただき、災害に対する備えを進めていただきたいと思います。

最後に是非実践していただきたい言葉をお伝えしたい。「止むことのない災害に強い危機管理意識を持って、自分が助かるすべを真摯に検証し、たったひとつの大切な命を守りぬく強固な意志を貫くことである」という言葉だ。この町から一人の犠牲者も出さないと全員が結束すれば、どこよりも隣人に優しい住みよい町になると思う。



開催地より

減災の取組と地域力の向上について、わかりやすくお話をいただいた。本日参加した生徒たちには、防災について考えるいい機会になったと思う。今日のお話をふまえ、すぐに対応できる活動として、地域の方への挨拶運動と地域住民と連携した防災訓練を実施していきたいと思う。